

診断群分類別患者数等

(診療科別患者数上位 5 位まで)

集計方法と定義

・診療科別に症例数の多いDPCコードの患者数、平均在院日数(自院)、平均在院日数(全国)、転院率、平均年齢を表にまとめたものです。

【呼吸器内科】

DPC コード	DPC 名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢
040040xx99040x	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等24あり 定義副傷病なし	84	11.20	12.35	0.00	67.72
040081xx99x00x	誤嚥性肺炎 手術なし 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	81	21.56	21.25	7.41	85.59
040040xx9910xx	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1あり 手術・処置等2なし	54	2.31	3.68	0.00	70.75
040110xxxxx0xx	間質性肺炎 手術・処置等2なし	47	18.91	19.92	2.13	70.32
0400801499x002	肺炎等(市中肺炎かつ 75歳以上) 手術なし 手術・処置等2なし 定義副傷病なし A-DROP スコア 2	41	14.41	15.29	0.00	83.37

解説

・呼吸器内科については 第1位の肺癌(040040xx99040x)は抗がん剤による化学療法の症例です。Stage III:68件、StageIV:115件、再発:73件となっており肺癌の化学療法実施率はⅢ期 92.65%Ⅳ期 75.65%再発 67.12%となっております。第3位の肺癌(040040xx9910xx)は肺生検の症例です。組織診や遺伝子検査により適合する抗がん剤を選択しております。第2位の誤嚥性肺炎(040081xx99x00x)と第5位の肺炎(0400801499x002)は高齢のため体力低下や嚥下反射の衰えた状態等により罹患します。誤嚥性肺炎と肺炎は他の症例と平均年齢でほぼ15歳の開きが見られます。